

古代米の稲刈り  
なす風土記の丘資料館



作業所ポニーとうぐいす工房の利用者や保護者ら約40人が11月2日、古代米の稲刈りを行いました。同メンバーが5月17日に田植えをした古代米は、赤米と黒米の2種類で、なす風土記の丘資料館の事業で毎年、栽培しているものです。参加者は7アールの水田に実った黒い稲穂を約1時間かけて刈り取りました。収穫後は、昨年収穫した古代米でもちつきをし、きなこもちやけんちん汁に入れたりして食べました。

栃木県統計大会で  
県統計協会名誉会長表彰受賞

県と県統計協会主催による第45回栃木県統計大会が11月6日、県総合文化センターで開催され、永年統計調査員として従事された方々が県統計協会名誉会長表彰を受賞しました。

受賞者は次のとおりです。

(敬称略)

栃木県統計協会名誉会長表彰

齋藤 孝一(馬 頭)

藤巻 正(小 川)



藤巻 正さん



齋藤 孝一さん

小川幼稚園で食育講習会  
親子で楽しくクッキング



食品の知識や判断力を身につけ、食することに興味をもたせようと11月12日、小川幼稚園で食育講習会、親子で楽しくクッキング」を開催しました。

講習会は保護者会(むつみ会)員の研修の一環として、那須町在住の橋本由紀子先生を講師におしるこづくりを行いました。64人の児童は白玉だんごづくりに挑戦。白玉粉に水を入れ、丸くこねるのに悪戦苦闘していました。

橋本先生は「今は加工品を使って手抜きできる時代ですが、何が入っているのかわからず怖い部分があります。自分が食べている物がどこから来て、どう料理されているのかを考えてほしい。子どもには安全の意識を育ててほしい」と話していました。

ゆりがねマラソン大会

11月18日開催された第26回ゆりがねマラソン大会には411人が参加し、晩秋の八溝路を駆け抜けました。なお、那珂川町の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

2 km小学生男子

1位 益子 亮介(大山田下郷)

2位 川又 翔太(馬 頭)

2 km小学生女子

1位 石井千菜美(小 砂)

2位 大金あかり(馬 頭)

3位 大金 加依(馬 頭)

3・5 km中学生男子

2位 藤沢 健吾(小 川)

3・5 km中学生女子

1位 佐藤 璃穂(大山田下郷)

2位 渡辺 晴香(大山田下郷)

3位 高林 佑伊(大 内)

5 km中学生男子

1位 渡邊 祐貴(谷 田)

2位 高林 大樹(大山田下郷)

10 km一般男子

1位 石井 成美(小 口)



### 第3回那珂川町文化祭

11月3日、4日の2日間、町総合体育館で文化の秋を彩る書道や文芸、写真などが展示され、町内外の見学者でにぎわいました。

また、23日には馬頭総合福祉センターで歌謡祭が、12月2日にあじさいホールで邦楽民謡舞踊祭が催され、自慢ののどや舞を披露しました。



### 千輪咲など咲き競う 第36回小川地区菊花盆栽展

11月2日から11日にかけて、小川総合福祉センターあじさいホール前で第36回菊花盆栽展が開催され、丹精された160点の立菊や盆菊、松柏などの盆栽が会場を埋め尽くし、大勢の見学者が訪れました。

なお、最優秀賞、特別賞受賞者は次のとおりです。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 町長賞         | 軍司 孝一 |
| 町議会議長賞      | 小泉 晴夫 |
| 農業委員会会長賞    | 大森 一美 |
| 商工会会長賞      | 佐藤 績  |
| 観光協会会長賞     | 阿見ケエ子 |
| 文化協会会長賞     | 薄井 弘光 |
| 那須信組馬頭支店長賞  | 秋元 正吾 |
| 那須南農協小川支所長賞 | 桧山 定吉 |
| (株)まほろば小川賞  | 佐原十四二 |
| 菊花盆栽会長賞     | 大森 絹江 |



### 「八溝の里」で特設人権相談所開設

鳥山人権擁護委員協議会（大金進会長は、今まで相談の機会がなかった高齢者等の福祉施設入所者が気軽に相談ができるよう、人権擁護委員が出向いて相談を受ける出前の特設人権相談を開催しています。

今年は、社会福祉法人一心会「八溝の里」の協力により11月20日、委員4人が同施設を訪問し、相談に応じました。

同協議会では、月2回の定期相談のほか、常時、相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

**連絡先** 宇都宮地方事務局鳥山支局  
☎0287-82-2251



### 鷲子山上神社夜祭り

今年、鎮座1,200年を迎え、鳥居を新調した鷲子山上神社では、11月17日、18日の2日間にわたり、奉祝祭典と夜祭りが行われました。

夜祭りは開山以来続く伝統行事で、毎年11月16日に行われていたが、今年から同月第3土曜日の開催となりました。

日没後の午後5時30分から3回連続で行われた夜祭りは、古儀秘伝の作法により行われ、提灯の薄明かりの下、ひっそりとした境内には祝詞が響き、参拝客は手を合わせて、厳かな雰囲気の中で進む神事に見入っていました。

